



2025年7月10日

各位

会社名 株式会社竹内製作所
代表者名 代表取締役社長 竹内 敏也
(コード: 6432 東証プライム)
問合せ先 執行役員経営管理部長 堀内 厚志
(TEL 0268-81-1200)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月11日に公表した2026年2月期の第2四半期（中間期）及び通期の業績予想、並びに配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026年2月期 第2四半期（中間期）連結業績予想（2025年3月1日～2025年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 113,000	百万円 22,600	百万円 21,500	百万円 15,300	円 銭 331.11
今回修正予想（B）	109,400	21,800	20,800	14,800	320.29
増減額（B－A）	△3,600	△800	△700	△500	△10.82
増減率（%）	△3.2%	△3.5%	△3.3%	△3.3%	△3.3%
（ご参考）前期実績 （2025年2月期 中間期）	109,606	24,867	23,187	16,854	353.58

(2) 2026年2月期 通期 連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 225,000	百万円 42,000	百万円 41,000	百万円 29,200	円 銭 631.93
今回修正予想（B）	211,200	33,600	32,800	23,200	502.08
増減額（B－A）	△13,800	△8,400	△8,200	△6,000	△129.85
増減率（%）	△6.1%	△20.0%	△20.0%	△20.5%	△20.5%
（ご参考）前期実績 （2025年2月期 通期）	213,230	37,142	35,608	26,113	552.45

(3) 修正理由

北米におきましては、当第1四半期において米国新大統領の関税及び通商政策による先行き不透明感、不確実性の高まりにより、引き続き製品購入時期を見合わせる動きがあり、ショベル、クローラーローダーともに販売台数が大きく落ち込みました。当第2四半期ではレンタル会社向けが好調で米国の販売台数は上向いておりますが、下期にかけて徐々に低下し、通期では前回予想を下回る見込みです。

欧州におきましては、長引くマクロ経済の冷え込みを背景とした投資マインドの低下により、主力製品であるショベル販売が前期に低迷し、この状況は当期も継続すると予想しておりました。フランスでの販売台数は前回予想を大きく下回ると見込むものの、英国及びその他の欧州主要国では低迷していた製品需要が底打ちし、フランスでの落ち込みを補填できる見込みであり、欧州全体の販売台数は前回予想並みとなる見込みです。

注力市場と位置付けるアジア・オセアニアにおきましては、オーストラリアの新規ディストリビューターでの販売・サービストレーニング等の準備期間が想定より長期化していること、及びオーストラリア市場が低調であること等により、販売台数は前回予想を大きく下回る見込みです。

この状況を踏まえて連結業績予想を見直した結果、売上高、利益面ともに前回発表予想を下回る見込みです。これは主に、米国関税政策による43億7千万円（相互関税の90日間の停止期間中は税率10%、それ以降は税率24%で算定）のコスト増、販売台数の下方修正、及び米ドルの前提為替レートを円高に見直したこと等によるものです。なお、各段階利益の売上高比率が下期において悪化するの、米国関税政策によるコスト増のほとんどが下期で発生すること等によるものです。

また、当第1四半期の実勢為替レート（期中平均）は、1米ドル＝147.56円、1英ポンド＝191.31円、1ユーロ＝158.62円、1人民元＝20.75円であり、当第2四半期以降の前提為替レートは、1米ドル＝140円、1英ポンド＝190円、1ユーロ＝160円、1人民元＝19.50円としております。（前回発表予想：1米ドル＝145円、1英ポンド＝183円、1ユーロ＝152円、1人民元＝20円）

（ご参考）

単位：百万円

地域別売上高	前回発表予想		今回修正予想		
	上期予想	通期予想	上期予想	通期予想	増減率
日本	750	1,480	790	1,510	+2.0%
北米	66,580	134,200	62,730	121,000	△9.8%
欧州	42,180	82,350	43,470	84,660	+2.8%
アジア・オセアニア	2,730	5,910	1,530	2,850	△51.8%
その他	760	1,060	880	1,180	+11.3%
売上高	113,000	225,000	109,400	211,200	△6.1%
営業利益	22,600	42,000	21,800	33,600	△20.0%
経常利益	21,500	41,000	20,800	32,800	△20.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,300	29,200	14,800	23,200	△20.5%

販売台数予想の変化（対前年同期比）

	前回発表予想			今回修正予想		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期予想	下期予想	通期予想
北米	+9.9%	+19.4%	+14.5%	+2.5%	+3.6%	+3.0%
欧州	+0.7%	△6.0%	△2.7%	+1.6%	△6.0%	△2.2%
アジア・オセアニア	+123.3%	+95.1%	+107.0%	+13.8%	△10.2%	0.0%
連結	+6.8%	+8.5%	+7.6%	+1.8%	△1.5%	+0.2%

2. 配当予想の修正

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2025年4月11日発表)	0円	未定	未定
今回修正予想	0円	200円	200円
当期実績			
前期実績 (2025年2月期)	0円	200円	200円

修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題の一つとして位置付けており、基本方針を以下のとおり定め、株主還元を強化していくこととしております。この基本方針に基づき、2026年2月期の利益水準及び財政状態を総合的に勘案した結果、これまで未定としていた2026年2月期の期末配当予想を、1株当たり200円に修正いたします。

【基本方針】

キャッシュフローを成長投資に優先配分し、月商の2ヶ月から2.5ヶ月分を目安として運転資金を確保したうえで、余剰資金を株主還元に充当する。

- ① 連結配当性向40%を目指し、段階的に引き上げていく。
- ② 株価水準や資本効率等を勘案のうえ、自己株式の取得を機動的に実施する。

3. 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上